



きらめく風

すすんで学ぶ子ども 心ゆたかな子ども 体をきたえる子ども

大雪

旭町小学校長 道山 正史

何年ぶりかの大雪で、通勤・通学にずいぶんと支障をきたした方も多いのではないかと思います。私も、いまだに街のあちらこちらに雪がたくさん残っているので、ちょっと油断すると、危ない思いをします。皆さんも十分注意をして下さい。

雪が降ると子供たちは雪で遊びたくてうきうきします。今回、学校では子供たちが遊んでも校庭の地面が傷つかない程度にたくさん積もったので、1月23日の中休みからその日一日、おもいきり雪遊びをすることができました。ただし、雪合戦のような雪をかためて投げるような遊びは禁止しました。雪をかためると結構石のように固くなる場合があり、また、雪の玉に砂利等が混ざることもあり、目や耳に当たってけがをする危険があるからです。そのため遊びはもっぱら雪だるまづくりでした。校庭には大小様々な雪だるまが出現したのでした。

さて、楽しい雪遊びもこの日一日でおしまいです。次の日からは、溶けた雪が夜の間にちかちかに凍ってしまい、とても遊ぶことはできなくなります。また、昼間は雪が少しずつ溶けて校庭がびしょびしょになります。なので、雪が降るとその翌日もしくは翌々日ぐらいから1週間、長いと2週間程度校庭が使用できなくなります。今回は大量に降ったのでどのくらいになるかわかりません。楽しい思いの後には、結構長い我慢を強いられるのです。雪が降った後の校庭は、思っているよりずっと多くの水を含んでいます。たとえ表面に雪がなくなったとしても大量の水分を含んでいるので立ち入るとぐしょぐしょになって荒れてしまうのです。当然休み時間は校庭は使用できなくなり、また校庭開放や校庭を使用しているスポーツ団体にとっては校庭が使用できない日々が続きますが、ご容赦下さい。

書きぞめの取り組み

